

平成 29 年度 2 級建築士設計製図試験の講評

「家族のライフステージの変化に対応できる三世代住宅（木造 2 階建て）」

コスモ建築塾の製図講習会の予想と試験内容

■講習会で指摘した事項

- エスキスライン … 15 年続いたエスキスライン（北より 5 コマ、3 コマ、10 コマライン）が最も有力な方法とした。三世代住宅は子供室を除いて、室の面積が大きいため、10 コマラインが中心になる。
- 階段の蹴上げの寸法 18 mm 以下は、階高が 3,000 mm の場合 17 段となる。階段は 5 コマ使っているので、踊り場に 1 段加える方法がよい。演習課題では有効幅 1,000 mm としたが、その場合はコ字型にしてまとめて 2 段設ける方法もあり。
- 19 m²以上の部屋が 2 室あるが、10 コマ(4,550 mm)×10 コマ(4,550 mm) (=20.07 m²) で対応。正に 10 コマラインの勝利である。なぜなら、横の幅が合理的に納まるからである。
- ライフステージの変化、要介護、子供のプレイルーム及び寝室として、子供室を設けて対応した。
- 玄関のスペースは地盤面から 350 mm の高さとして、1/8 のスロープでの対応を事前に考えた。

■まとめ

今年の課題は非常にオーソドックスでした。日頃の問題でよく演習した問題なので、対応は可能だったと思う。特に、子供室を除く 2 世帯は大きい部屋が予想されたので、10 コマラインが役に立ったと思う。今後も充分に利用できるので、大いに役立ってもらいたい。